



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2022年(令和4年)7月25日号 No.1898

目次

■ 有識者が語るカザフスタンの展望	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2022年8月号のご紹介	12
■ キーパーソン	13
ウズベキスタンで大統領府新長官就任 / 13	
■ エトセトラ	14
第11回日本アゼルバイジャン経済合同会議 / 14	
■ トピックス	14
NERが木質ペレット事業を飯田GHDに譲渡 / 14	
サウジがロシア産燃料油の輸入倍増 / 14	
アゼルバイジャンがEUへのガス供給拡大へ / 14	
日本政府がサハリン2権益維持へ支援 / 15	
ロシアが政策金利を利下げ / 15	
ロシアがオデーサ商業港を攻撃 / 15	

有識者が語るカザフスタンの展望

はじめに

(一社)ロシアNIS貿易会は、2022年7月4日に、「2022年のカザフスタンを読み解く3つの視点～政治・経済・石油～」と題するセミナーをオンラインで開催した。『ロシアNIS調査月報』では、2022年9-10月合併号(8月20日発行)においてカザフスタン特集を予定しており、セミナーの報告は同号に掲載予定である。

さて、セミナーでは参加者から多数のご質問をいただいたが、当日は時間の都合で対応しきれなかった。後日、講師に書面で回答いただいたので、今号の速報でその内容をお伝えする。月報のセミナー報告とあわせ、ご利用いただければ幸いである。

対口関係

質問: 今後のカザフスタンとロシアの経済・政治・軍事関係はどうなっていくのでしょうか?

回答: サトパエフ・Kazakhstan Risks Assessment Group代表

ロシアと長い国境を接していること、ユーラシア経済連合(EAEU)や集団安全保障条約(CSTO)に加盟していることから、カザフスタンはロシアを対外政治パートナーの1つとして、ロシアに追随する地位を維持していくことになる。カザフスタンにとって不可欠なのは、国際舞台におけるロシアのステイタ